



大開口から眩しい緑が目飛び込んでくる家族風呂。内風呂といっても十分に自然を感じながら湯浴みを楽しめる。



天気の良い日は敷地内をゆっくり散策するのもおすすめ。深呼吸したくなる森が日常から解放してくれる。



四季の移ろいを繊細に映す「八寸」、丁寧に引いた出汁が松茸を引き立てる「松茸の土瓶蒸し」。福島の地酒飲み比べセットも好評。



人気の露天風呂付客室「こぶし」は和モダンの落ち着いた佇まい。



離れは和室三間と露天風呂が付いており3世代の宿泊にもおすすめ。



土湯別邸 里の湯 ☎024-595-2146

福島県福島市土湯温泉町 悪戸尻27-2
<https://www.satonoyu.com/>



『土湯別邸 里の湯』は清月記グループが8月より運営しております。



吾妻連峰の懷に抱かれた土湯温泉は1400年以上の歴史をもつ古湯。東北自動車道福島西ICから車でおよそ20分というアクセスの良さを誇りながら、温泉地一帯が磐梯朝日国立公園に指定されているため、豊かな自然が織りなす四季折々の風景を楽しめます。

賑やかな温泉街から少し離れた場所に『土湯別邸 里の湯』があります。急峻な斜面を縫うように下ると現れる数寄屋造の平屋。外からは建物全体を見渡すことができず、まさに隠れ宿の佇まい。滞在への期待が高まります。

高まります。

玄関を上ると、そのまま客室へ。抹茶と自家製の和菓子をお楽しみながらチラキンをいただきます。客室はわずか10室。ゆったりとした一貫続きの和室を中心に、露天風呂付客室、和室三間の離れで構成され、全ての客室に温泉が引かれています。ひと息ついたら森の中の露天風呂へ。木組みの回廊を下へ下へと進んで辿り着く「金剛の湯」は渓流を望むように造られ、真つ直ぐに伸びる杉原生林にすっぽりと包み込まれています。聞こえるのは苔むす渓流のせせらぎと木々のざわめき、鳥のさえずり、虫の声。湯に身を委ねれば、心がすっとほぐれるでしょう。露天風呂を含む3つの浴場は貸切制になっており、プライベートな時間を過ごすことができます。

夕食で供されるのは正統な日本料理。旬を捉えた食材を巧みの技で仕上げた二皿が口福へと誘います。

ここにあるのは幽玄の自然と温泉、そして心を砕いた細やかなもてなし。「何もしない」ことが最高の贅沢だと気づかせてくれる湯宿です。

Seigetsuki

静寂に満ちる隠れ宿 幽玄の湯に心が解ける

吾妻連峰の懷にいにしえより湧く福島市・土湯温泉。賑やかな温泉街から少し離れた森の中に一軒の隠れ宿があります。足を踏み入れれば、そこには俗世と隔絶された別世界が広がっています。

高くそびえる杉原生林と降り注ぐ木漏れ日に包まれる「金剛の湯」。この景色を独り占めできるのは何とも贅沢。